



2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月12日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東
 コード番号 6785 URL http://www.suzukinet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 横山 勝登 TEL 026-251-2600
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績（2018年7月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	6,641	0.4	444	△31.7	411	△37.8	184	△52.6
2018年6月期第1四半期	6,617	16.6	650	106.0	661	410.0	389	—

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 101百万円 (△80.7%) 2018年6月期第1四半期 526百万円 (290.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	12.84	—
2018年6月期第1四半期	31.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	23,369	15,757	66.7
2018年6月期	23,760	16,075	66.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 15,593百万円 2018年6月期 15,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期（予想）	—	0.00	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,064	1.4	774	△43.8	710	△50.3	278	△67.7	19.34
通期	28,507	5.2	2,024	△7.7	1,953	△11.5	1,082	△8.0	72.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期1Q	14,390,000株	2018年6月期	14,390,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期1Q	4,457株	2018年6月期	4,413株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期1Q	14,385,565株	2018年6月期1Q	12,385,632株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年6月期 第1四半期決算短信」より日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善及び堅調な設備投資によって緩やかな回復基調が続きました。海外においては、米国及びヨーロッパ経済は引き続き堅調に推移し、中国やインド等のアジア経済は堅調な成長率を維持しております。しかしながら米国の関税政策に対する各国の動向や地政学リスクが依然として継続しており先行き不透明感が強まっています。

当社グループにおいては、全体の売上高は前年同期と同水準を確保しましたが、部品セグメントでは、主力のスマートフォン関連部品の需要が低調に推移したことと、金型セグメントでは、生産コストの増加や海外子会社の受注が計画を下回ったことで利益を圧迫しました。一方、機械器具セグメントは、顧客の生産計画に沿って堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、更なる生産効率の向上、および高精度の品質維持を実現するために積極的な改善活動を推し進めてきました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高66億4千1百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は4億4千4百万円（前年同期比31.7%減）、経常利益は4億1千1百万円（前年同期比37.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億8千4百万円（前年同期比52.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金型

電子機器向け金型、自動車電装向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け金型は、スマートフォン部品用や車載部品用金型の販売が貢献し、自動車電装向け金型も堅調な実績となった結果、当セグメントの売上は前年同期比で増加しました。しかし、国内は新規製品の生産コスト増加により利益率が低下し、インドネシア子会社は自動車関連の受注が低調だったことで営業損失が膨らみました。

その結果、売上高は4億5百万円（前年同期比19.5%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント利益8千2百万円）となりました。

②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。自動車電装向け部品の受注は堅調な実績でしたが、電子機器向け部品はスマートフォン関連部品の需要が想定よりも低調に推移したことで計画を下回り、当セグメントの売上および利益は前年同期比で減少しました。

その結果、売上高は51億7百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は5億5千3百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

③機械器具

各種自動機器、医療器具を主軸として販売してまいりました。各種自動機器は車載関連装置の需要が増加し、医療器具も市場の高い需要を背景に堅調な実績となった結果、当セグメントの売上および利益は前年同期比で増加しました。

その結果、売上高は11億2千5百万円（前年同期比17.3%増）、セグメント利益は1億4千4百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

④その他

賃貸事業、売電事業を行っております。

売上高は3百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は1千1百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、流動資産は109億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億3千9百万円減少しました。これは主に現金及び預金が4億1千6百万円、受取手形及び売掛金が3億4千1百万円減少したことによるものであります。固定資産は124億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千8百万円増加しました。これは主に有形固定資産が3億8千7百万円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債は54億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加しました。これは主に短期借入金が2億4千万円、賞与引当金が2億2千5百万円増加しましたが、未払法人税等が2億8千5百万円、買掛金が1億6千7百万円減少したことによるものであります。固定負債は21億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千万円減少しました。これは主に長期借入金が8千8百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は157億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千8百万円減少しました。これは主に非支配株主持分が1億8千2百万円、その他有価証券評価差額金が1億1千4百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.7%（前連結会計年度末は66.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月10日に公表しました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,284,007	2,867,357
受取手形及び売掛金	5,443,307	5,102,093
商品及び製品	272,909	281,675
仕掛品	1,245,700	1,268,163
原材料及び貯蔵品	1,129,442	1,142,517
その他	300,680	275,179
流動資産合計	11,676,048	10,936,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,990,681	3,928,004
機械装置及び運搬具（純額）	3,601,642	3,616,557
土地	1,423,475	1,420,836
その他（純額）	1,100,973	1,539,027
有形固定資産合計	10,116,774	10,504,425
無形固定資産	84,195	79,440
投資その他の資産		
投資有価証券	1,647,687	1,498,623
その他	236,679	350,938
貸倒引当金	△1,136	△1,136
投資その他の資産合計	1,883,230	1,848,425
固定資産合計	12,084,200	12,432,291
資産合計	23,760,249	23,369,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,402,812	2,235,789
短期借入金	1,245,325	1,485,952
1年内返済予定の長期借入金	480,854	412,797
未払法人税等	556,809	271,100
賞与引当金	102,519	328,012
役員賞与引当金	27,900	6,900
その他	610,750	694,273
流動負債合計	5,426,969	5,434,826
固定負債		
長期借入金	927,934	839,386
長期未払金	442,531	435,797
退職給付に係る負債	887,100	901,883
固定負債合計	2,257,565	2,177,066
負債合計	7,684,535	7,611,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,437,470	2,437,470
資本剰余金	2,256,578	2,248,512
利益剰余金	10,292,196	10,289,857
自己株式	△1,185	△1,226
株主資本合計	14,985,059	14,974,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	729,254	615,236
為替換算調整勘定	72,890	59,765
退職給付に係る調整累計額	△57,641	△56,299
その他の包括利益累計額合計	744,503	618,703
非支配株主持分	346,151	164,069
純資産合計	16,075,714	15,757,385
負債純資産合計	23,760,249	23,369,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
売上高	6,617,235	6,641,395
売上原価	5,512,361	5,695,245
売上総利益	1,104,874	946,150
販売費及び一般管理費	454,193	501,679
営業利益	650,680	444,470
営業外収益		
受取利息	758	1,063
受取配当金	8,820	14,826
受取賃貸料	1,667	1,702
スクラップ売却益	2,481	1,534
為替差益	5,251	—
その他	2,556	3,672
営業外収益合計	21,535	22,798
営業外費用		
支払利息	8,119	8,392
為替差損	—	45,420
支払補償費	2,289	—
その他	25	1,971
営業外費用合計	10,434	55,785
経常利益	661,781	411,484
特別利益		
固定資産売却益	2,176	1,327
投資有価証券売却益	—	1,795
特別利益合計	2,176	3,122
特別損失		
固定資産売却損	6,292	62
固定資産除却損	146	280
特別損失合計	6,438	343
税金等調整前四半期純利益	657,518	414,263
法人税、住民税及び事業税	288,436	250,495
法人税等調整額	△69,846	△65,462
法人税等合計	218,590	185,033
四半期純利益	438,928	229,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	49,661	44,557
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,266	184,673

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年7月1日 至 2017年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2018年9月30日）
四半期純利益	438,928	229,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,705	△114,017
為替換算調整勘定	△19,800	△15,060
退職給付に係る調整額	1,005	1,339
その他の包括利益合計	87,909	△127,738
四半期包括利益	526,838	101,492
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	495,393	58,873
非支配株主に係る四半期包括利益	31,444	42,618

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2017年7月1日 至 2017年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	339,477	5,315,617	959,041	6,614,136	3,099	6,617,235	—	6,617,235
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	132,008	△167,396	133,921	98,533	18,300	116,833	△116,833	—
計	471,486	5,148,220	1,092,962	6,712,669	21,399	6,734,068	△116,833	6,617,235
セグメント利益	82,678	706,413	113,614	902,707	11,213	913,920	△263,240	650,680

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△263,240千円には、セグメント間取引消去6,192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△260,566千円、たな卸資産の調整額△6,206千円及びその他の影響額△2,660千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2018年7月1日 至 2018年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	405,551	5,107,556	1,125,193	6,638,300	3,095	6,641,395	—	6,641,395
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	151,825	△83,240	△410	68,174	18,300	86,474	△86,474	—
計	557,376	5,024,315	1,124,782	6,706,474	21,395	6,727,869	△86,474	6,641,395
セグメント利益 又は損失(△)	△2,940	553,405	144,696	695,161	11,879	707,041	△262,570	444,470

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△262,570千円には、セグメント間取引消去1,559千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△289,771千円、たな卸資産の調整額30,418千円及びその他の影響額△4,776千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

（合弁会社（子会社）の設立）

当社は、2018年9月10日開催の取締役会において、以下の通り合弁会社を設立することを決議し、2018年10月1日に設立いたしました。

1. 合弁会社設立の目的

当社は住友電装株式会社向けに自動車用・機器用のワイヤーハーネス用生産設備を製造しておりますが、今後、自動化・ロボット技術の開発が加速することが予測され、開発技術力と生産量増加に対応するため、合弁会社を設立いたしました。

2. 設立した会社の名称、事業内容、規模

(1) 名称	S&Sアドバンステクノロジー株式会社
(2) 所在地	長野県須坂市大字小河原2014番地5
(3) 代表者	岡部 淳之
(4) 事業内容	ワイヤーハーネス用生産設備の開発、設計、製造及び販売
(5) 規模	資本金 80,000千円

3. 設立の時期

2018年10月1日

4. 出資金額及び設立後の持分比率

(1) 出資金額	40,800千円
(2) 設立後の持分比率	株式会社鈴木 51%
	住友電装株式会社 49%